

建学の精神 EST. 1935 (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

看護科

- 看護科
- 看護専攻科

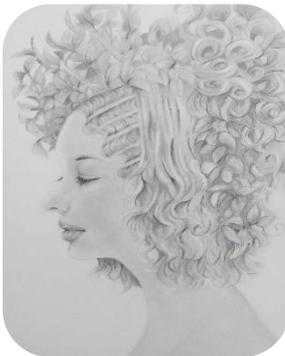
商業科

- 商業コース
- 美容専攻コース
- 製菓衛生師コース

美容専攻コース

全国理容美容学生技術大会

8月18日(月)、福岡国際会議場にて『理美容甲子園 第6回全国理容美容学生技術大会九州地区大会』が開催されました。「ときめき」をテーマに本校より3年生の中野美花さん(大谷中学校出身)が、ヘアデザイン画部門に参加し見事、最優秀賞に選ばれました。来る10月26日(日)に札幌市の真駒内セキスイハイムアイスアリーナにて開催される全国大会に出展します。



特別授業

9月6日(土)、福岡美容専門学校より講師と学生をお迎えしての特別授業がありました。ファッションショーを再現した実演に生徒達は真剣に見入っていました。



感謝状

8月27日(水)、日本郵便株式会社より日頃の郵便事業に深い理解と協力をしたことに対して感謝状が送られました。本校は毎年、40人程度の生徒達がアルバイトを行っており、八幡南郵便局の山崎彰局長は、「皆様方のお手伝いがあって年末年始の忙しい時期を乗り越えることができます。」と感謝されていました。



体育祭

9月4日(木)宗像市のグローバルアリーナにて体育祭が行われ、当日は雨で実行が危ぶまれましたが一時間おくれの少雨決行となりました。参加生徒達も小雨の中堂々と行進をし、競技開始には雨も上がり80m走・百足競争・応援合戦・愛真堀川渡し・部活動紹介の5種目でしたが、みんな元気で楽しんでいました。



私学展

8月23・24日の2日間、小倉井筒屋パステルホールにて、第22回私立小・中・高校展がありました。本校のブースでは朝早くから大勢の受験生や保護者が熱心に説明を聞いていました。



募集定員(推薦・一般) 340名【普通科 150名／看護科・看護専攻科<五年一貫> 70名／商業科 120名】

推薦入試要項

学 科	コ ー ス	出 願 期 間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成27年 1月9日(金)～ 1月21日(水) 受付 午前9時～午後6時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後3時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

一般入試要項

学 科	コ ー ス	出 願 期 間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成27年 1月9日(金)～ 1月28日(水) 受付 午前9時～午後6時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後3時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

試験日	試験科目(基礎学力)	合格発表
平成27年 1月27日(火)	国語・数学・面接 特進・看護のみ 国語・数学・英語・面接	平成27年 1月29日(木)

試験日	試験科目	合格発表
平成27年 2月4日(水)	国語・数学・社会・理科・英語	平成27年 2月9日(月)

感謝式

神前通り完成感謝挨拶

9月1日(月)、記念館(明治42年旧折尾署より移築された建物)への歩道の整備が終わり感謝式が行われました。創立者増田孝先生と親交が深かった神前誠先生より多額の寄付を頂き、その一部で整備された歩道は神前通りと命名し感謝を表しました。式には、神前先生に代わり御長女村山光子様の出席を賜り、ご挨拶で「一生の記念になります。」と喜んでいただきました。



ご長女村山光子様

学校見学会のご案内

- ・学校紹介
- ・入試相談
- ・体験授業
- ・入試対策 他

第1回

7月12日
(土) 終了

第2回

9月20日
(土) 終了

第3回

10月11日
(土)

第4回

11月15日
(土)

「草創期の黒田藩と栗山大善」黒田家と宇都宮家の抗争①

官兵衛は天正十五年(1587)六月、豊前六郡を与えられて、豊前に入国することになりますが、ひとまず、馬ヶ岳城に入ります。この馬ヶ岳城は現在の行橋市大谷と京都郡蘆川犀川町の二つの峰にわたる標高二一六メートルの馬ヶ岳に築城されたもので、その歴史は古く、一説では天慶五年(942)に源経基が築いたとも云われています。天正十五年(1587)の三月。九州入りをした秀吉が、一時逗留した城で、官兵衛父子が藩政の拠点の中津に移すまでの凡そ一年間、この馬ヶ岳で過ごします。翌年の天正十六年(1588)中津城に移りますが、戦国時代の余波は根強く残ってしまっており、中津に入国早々は、抗争の日々を送ることになります。それは、豊前の豪族だった宇都宮との戦いでした。宇都宮氏は名の通り、下野国・宇都宮の出で、豊前宇都宮の祖となった信房は鎌倉幕府の御家人でした。文治三年(1187)源頼朝の命によって平家追討に加わり、其の功によって九州に所領を与えられ、地頭職に補せられて豊前に入国、現在の犀川町木井馬場に拠点をおいて勢力を広げていきます。南北朝鮮時代の当主頼房の時、本城地を現在の築城町本庄に移し、地名を取って城井氏を名乗るようになります。こうして、宇都宮一族は豊前各地に根をおろしていきます。十四世紀の頃の通房・頼房・冬網の時代に、鎌倉幕府の執権北条得宗家と結びつき、筑後国・豊前国の守護に任命され、豊前最大の武士団に成長していきます。宇都宮家は鎌倉幕府直系の由緒ある家柄です。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大善」より